

「2004年4月から2011年6月までに川崎医科大学附属病院で肺がんと診断され手術を受けられた患者さんへのお知らせ」

「肺癌手術症例における手術前診断の妥当性に関する研究」について

当教室では、2004年4月から2011年6月までに、川崎医科大学附属病院で肺がんと診断され手術を受けられた患者さんについて、手術前の検査結果と手術標本の検査結果を比較して、手術前の検査がどれくらい正確であったかを研究することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、どのような肺がんの組織型が治療前に診断することが困難なのか、ということを検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。

本研究はレントゲンやCTなどの画像、痰や気管支鏡で採取した検体および手術標本を再評価し、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の問い合わせ先にご相談下さい。

この研究に対する説明を御希望の方は、川崎医科大学附属病院呼吸器外科ホームページから電子メール、または川崎医科大学附属病院代表(086-462-1111)から呼吸器外科教室(内線25519)まで連絡をお願いいたします。

【担当者：清水克彦】